

報告事項ウ

日野高校と地域の未来を考えるフォーラムの概要について

日野高校と地域の未来を考えるフォーラムの概要について、別紙のとおり報告します。

平成25年12月20日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

日野高校と地域の未来を考えるフォーラムの概要

高等学校課

1 目的

少子高齢化が進展している日野郡では、児童・生徒数が引き続き減少することが見込まれており、地域唯一の高校である日野高等学校も入学者が減少しつつある。

このような中、島根県海士町の事例などに学びながら、日野高等学校と地域が互いに連携して魅力と活力のある学校と地域を創出する方策について考える。

2 テーマ 人と繋がり 地域と繋がり 未来へと繋がる学校づくり

3 日時 平成25年11月16日(土) 午後3時～6時20分

4 場所 鳥取県立日野高等学校体育館(鳥取県日野郡日野町根雨310番地)

5 主催 鳥取県教育委員会 鳥取県日野地区連携・共同協議会

6 参加者 約100名(地域住民、中学校・高等学校・特別支援学校の教職員、市町村の職員、市町村教育委員会の職員、鳥取県職員等)

7 内容

14:30 15:00 15:30 15:35 16:35 18:15 18:20

受付	イベント	開会	講演	パネルディスカッション	閉会
----	------	----	----	-------------	----

(1) イベント 日野高等学校郷土芸能部による荒神神楽

(2) 講演 演題：『地域連携による魅力ある高校づくり』

講師：隠岐島前高校魅力化コーディネーター 岩本 悠 氏

- ・海士町が有している人口減少や少子高齢化などの課題は、今後、日本が直面していくであろう非常に重要な課題。それを島根県や鳥取県は先取りしており、海士町の取組は、他の地域や日本の未来に示唆を与える価値のあるもの。
- ・生徒数が減少→学級数が減少→教員数も減少→学校教育活動も縮小→魅力が薄れる→生徒数が減少という悪循環の状況を何とかしないといけないという考えで進めた。
- ・隠岐島前高校では、教育面だけではなく、地域活性化、地域振興の一翼を担う学校、地域の担い手育成を行う学校として魅力づくりを進めた。

(3) パネルディスカッション

テーマ：『日野高等学校の魅力づくりに向けた地域の役割』

(コーディネーター) 岩本 悠 氏

(パネリスト) 景山 享弘 氏(日野町長)、吉元 操 氏(島根県海士町財政課長)

田中 哲也 氏(兵庫県立村岡高等学校長)、浅田 尚宏 氏(兵庫県立千種高等学校長)

- ・関係者(3町、学校、県)が連携して、一つの目標に向かって主体的に取り組んでいくのが大切。最後は、やる気がないとだめであり、生徒に夢や希望を抱かせるような取組が必要。
- ・学校の魅力づくりには学校が存在する地域の支援がとても重要で、日野高校についても日野郡3町がバックアップしてあげてほしい。
- ・地域資源をどう生かすか。サントリー(水)、オロチ(林業)などと連携した教育の推進、カリキュラムの検討を行ってはどうか。

8 参加者の感想(アンケートから抜粋)

- ・学校の魅力づくりは、地域に密着した学校づくりだけではなく、進学に対応できる教育力の向上も含めたものでなければならない。
- ・地域連携は大切だけど、町、県、国の協力が不可欠であることがわかった。日野高校の魅力を発信していく必要性も感じた。
- ・日野高校が廃校になっても仕方ないと思っていたが、同じような状況にある学校が、知恵を出して、行動を起こし、すばらしい高校にされた話を聞いて目が覚めた。日野高校も知恵を出し合い、行動を起こさないといけない時期にきている。